

2022年6月10日

株 主 各 位

埼玉県川越市大字古谷上4274番地  
ヤマト・インダストリー株式会社  
代表取締役社長 重岡幹生

## 「第67回定時株主総会招集ご通知」の一部訂正（追加）について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年6月10日付で株主の皆様あてにご発送いたしました当社「第67回定時株主総会招集ご通知」に、一部記載の誤りがございました。

重ねてお詫び申し上げますとともに、当社ウェブサイトへの掲載をもって、下記のとおり訂正させていただきます。

(訂正箇所は        を付しております。)

敬 具

記

### 【訂正箇所1】

8頁 「6. 対処すべき課題」(2)

#### (訂正前)

- ・人材の採用、人材の登用、人材の育成を行い、人員の採用を行い人財の活性化を進める。

#### (訂正後)

- ・人材の採用、人材の登用、人材の育成を行い、人財の活性化を進める。

### 【訂正箇所2】

22頁 「連結株主資本等変動計算書」

#### (訂正前)

項 目	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額					非支配株主 持 分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	為 替 換 算 定 調 整 勘 定	退職給付に係る 調 整 累 計 額	その他の包括 利益累計額合計		
2021年4月1日残高	1,354	542	△26,854	△31,387	△56,345	801	1,330,527
連結会計年度中の変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失							△306,315
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	76	△542	209,253	△5,343	203,443	92	203,535
連結会計年度中の変動額合計	76	△542	209,253	△5,343	203,443	92	△102,781
2022年3月31日残高	1,431	—	182,398	△36,731	147,098	894	1,227,748

#### (訂正後)

項 目	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額					非支配株主 持 分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	為 替 換 算 定 調 整 勘 定	退職給付に係る 調 整 累 計 額	その他の包括 利益累計額合計		
2021年4月1日残高	1,354	542	△26,854	△31,387	△56,345	801	1,330,527
連結会計年度中の変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失							△306,315
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	76	△542	209,253	△5,343	203,443	92	203,536
連結会計年度中の変動額合計	76	△542	209,253	△5,343	203,443	92	△102,779
2022年3月31日残高	1,431	—	182,398	△36,731	147,098	894	1,227,748

【訂正箇所3】

31頁 「VII 収益認識に関する注記」

(訂正前)

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

当社グループは各種合成樹脂成型品及び物流機器の製造、販売を主な事業とし、これらの製品の販売については製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、製品の引渡時点で収益を認識しております。また、収益は顧客との契約において約束された耐火から返品、値引き等を控除した金額で測定しております。

取引の対価は履行義務を充足してから1年以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

(訂正後)

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

当社グループは各種合成樹脂成型品及び物流機器の製造、販売を主な事業とし、これらの製品の販売については製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、製品の引渡時点で収益を認識しております。また、収益は顧客との契約において約束された対価から返品、値引き等を控除した金額で測定しております。

取引の対価は履行義務を充足してから1年以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

【訂正箇所4】

39頁 「5. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務」

(訂正前)

長期金銭債権 14,730 千円

(訂正後)

長期金銭債権 21,930 千円